

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合を想定して考える（もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など）
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のもののだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

思考スキル

○知識

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

○理由

- ・ 筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・ 現象の背後にあることを明らかにする

○置き換え

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題の状況を図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比を自由に行き来する

○比較

- ・ 多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異を明確にする

○分類

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ ある特徴を持つものを示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ ある目的のための手段となることを見つけ出す

○推論

- ・ 情報をもとに、論理的な帰結を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学3年 基礎力テスト（国・算）—— 解答と解説

算数（国語と算数あわせて40分）

1

(1)	5036	(2)	56	(3)	22

(4)	28	(5)	5

(6)	ア	1	イ	8

(完答) 26

2

(1)	25	円	(2)	160	mL	(3)	7

(4)	①	48	人	②	8	人	(5)	①	エ	②	72	cm

3

(1)	85	分	(2)	午前	11	時	15	分	

(完答) 35

4

(1)	テ	(2)	①	ネ	②	タ	(3)	コ	

(完答) 37

国語

（国語と算数あわせて四十分）

問一	a	39
細		
b		
歩		40
c		
くび		41
d		
買		42
e		
半		43

問二	A	44
エ		
B		
ア		45

問三	1	
ウ		46
2		
ア		47
3		
イ		48

問四(例)	む	
ず		
か		
し		49
問五		
ア		50
問六		
ア		51

問七	で	
も		
、		
や		
さ		52
問八		
ウ		53
問九		
ウ		54
問十		
ア		55

（配点）
算数①各 2 点× 6 =12点
②(1)(2)(3)各 2 点× 3 = 6 点
(4)(5)各 3 点× 4 =12点
③各 4 点× 2 = 8 点
④各 4 点× 3 =12点
国語問一～問三……各 2 点×10
問四・五・六・八・九……各 4 点× 5
問七・十……各 5 点× 2
計100点

【解 説】

① 計算問題

(6) 1mは100cmです。

② いろいろな文章題

(1) **A1** 再現する

チョコ1つとガム1つのねだんは合わせて、 $45+30=75$ （円）
おつりは、 $100-75=25$ （円）

(2) **A1** 再現する

$250-90=160$ （mL）

(3) **A2** 情報を獲得する 再現する

1人を○1つで表しているの、ア=3、イ=4より、 $3+4=7$

(4) ① **A1** 再現する

$6 \times 8 = 48$ （人）

② **A1** 再現する

長いす8つにすわることのできる人数は、 $7 \times 8 = 56$ （人）

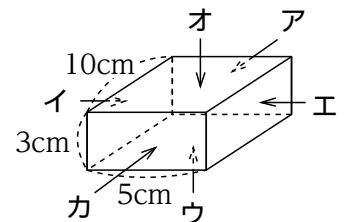
すわった人数は①より48人なので、 $56-48=8$ （人）

（1つの長いすにはあと、 $7-6=1$ （人）すわることができるので、いすが8つで、

$1 \times 8 = 8$ （人）と考えることもできます。）

(5) ① **B1** 情報を獲得する 推論

できるはこは、右の図のようになり、イの面とむかい合う面は、エになります。



② **B1** 情報を獲得する 推論 再現する

右の図から、3cm、5cm、10cmの辺の数は

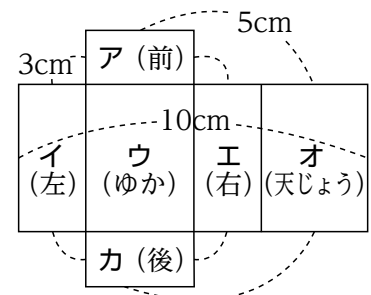
それぞれ4本ずつです。 $3 \times 4 = 12$ （cm）、

$5 \times 4 = 20$ cm、 $10 \times 4 = 40$ （cm）

辺をすべてたすと、 $12+20+40=72$ （cm）

（右の図のように、自分のいる教室に見立てて、すわっている面をゆかとし、前後・左右・上下の向きで、面どうしの関係がわかります。

点線で示したようにじゅんに考えていくと、重なる辺どうしがわかります。）



③ 時こくと時間の問題

- (1) **A1** 再現する

$$25 + 30 + 30 = 85 \text{ (分)}$$

- (2) **A2** 順序立てて筋道をとらえる

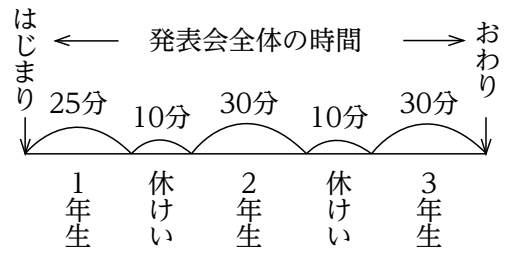
休けいは、右の図のように 2 回あったので、

$$10 + 10 = 20 \text{ (分)}$$

発表会がはじまっから終わるまでの時間は、

$$85 + 20 = 105 \text{ (分)} = 60 \text{ (分)} + 45 \text{ (分)} = 1 \text{ (時間)} 45 \text{ (分)}$$

$$(\text{午前 } 9 \text{ 時 } 30 \text{ 分}) + (1 \text{ 時間 } 45 \text{ 分}) = \text{午前 } 11 \text{ 時 } 15 \text{ 分}$$



④ 平面図形の問題

- (1) **A2** 情報を獲得する 再現する

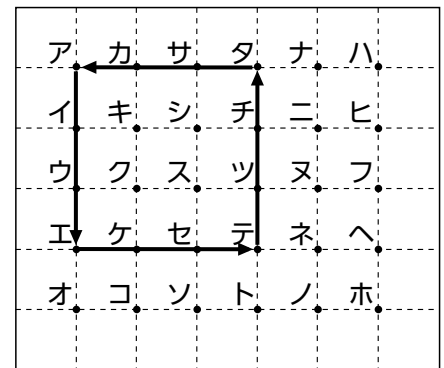
正方形の性質 → ① 4 つの辺の長さが等しい

② 4 つの角の大きさが等しい

① 方眼紙の正方形の辺 3 つ分の長さをりようする

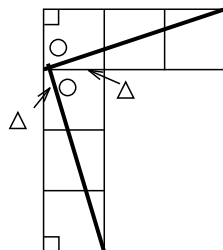
② 方眼紙の正方形の 4 つの角度をりようする

辺 **アエ** = 辺 **エテ** = 辺 **テタ** = 辺 **タア** より、**テ**

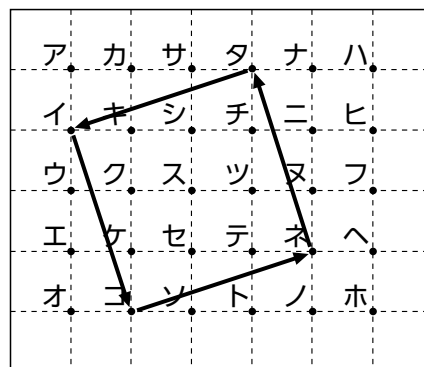


- (2) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

1 れつにならんだ正方形 3 つを下の図のように 2 つに切ると、直角三角形の太い線の長さが等しいこと、○と△で表されたひと組が正方形の 1 つの角 (直角) になっていることをりようします。

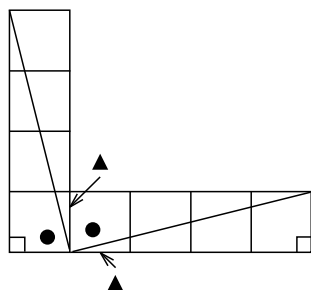


⇒

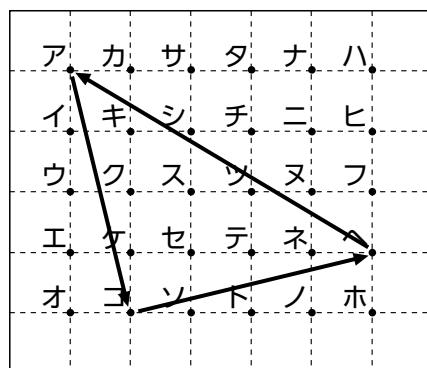


(3) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

1 れつにならんだ正方形4つを下の図のように2つに切ると、直角三角形の太い線の長さが等しいこと、●と▲で表されたひと組が正方形の1つの角（直角）になっていることをりようします。



⇒



【解説】

問一 A2 知識 関係づけ

a eの漢字はいずれも三年生で読み書きができてほしいものです。漢字の学習は日頃からこまめにおさましよう。

問二 B1 具体・抽象 比較 関係づけ

心情(気持ち)を表す言葉についての問題です。その場面での会話や行動を手がかりにして選びましょう。

A のすぐ前に「『でも、どうやってつくるのかな』というにいちやんのせりふがあります。おみおつけの作り方がよくわからなかったと考えられますから、エの「しんぱいそう」が正しい答えです。

B のすぐ前に、たまご一この重さが約50グラムだと学校で習ったことをおみい出したと書かれています。おみい出したことをよろこんでいると考えられるので、アの「うれしそう」が正しい答えです。

問三 B1 具体・抽象 比較 関係づけ

1 には、にいちやんが図書館に行つてりようりの本をかりてこようと行ったことについて「にいちやんって、やっぱり頭がいい」とほめる気持ちがあてはまります。したがって、ウの「かんしん」が正しい答えです。

2 には、にいちやんがみそしるの作り方というところを読んでいるよすを表す言葉があてはまります。字の読み方を考えているよすががわかるので、アの「ねっしん」がふさわしいと考えられます。

3 には、とうさんのぶんのおみおつけがなくなつたあとに、もう一回つくればいいとわかつた時の「ぼく」の気持ちがあてはまります。二はいめのおみおつけを飲んだのですから、イの「あんしん」が正しい答えです。

問四 B1 知識 関係づけ 推論

★ のすぐ前に「あつてい本もあれば、うすい本もあった」と書かれています。★ には、これと同じ言い方になる言葉が入ると考えられます。「あつてい」と「うすい」は反対の意味になる言葉の組み合わせなので、★ には「やさし(そう)」と反対になる「むずかし(そう)」などの言葉が入ります。同じ意味になる「ふくぎつ(そう)」も正しい答えです。

問五 B1 理由 比較

線部①の前にこの本を読めばごちそうがつくれると聞いたことが書かれています。それを聞いてうれしくなつたことが、すぐ後に書かれた「それじゃこれからまい日、にいちやんといっしょに、すてきなごちそうがつくれるじゃないか」という部分からわかります。ですから、アの「本に書いてある通りにつくれば、まいにちおいしいりようりが食べられるとおもつたから。」が正しい答えです。

問六 B1 具体・抽象 比較

本文中にたまご一この重さが約50グラムだと書かれています。また、その後には「(に)ばしは」40グラムだから、たまごよりちよつとかるいんだ。」とも書かれています。はかりがないので、はかりのかわりにものさしを使ってにばしやみその重さをはかった、と書かれていますから、アの「たまごは40グラムよりおみいので、ものさしをつかつてたまごよりかるくなるようにしてはかることにした。」が正しい答えです。

問七 B1 理由 関係づけ

線部③の「そんなときかれたつて、ぼくにはわかりっこない」という部分から、ぼくにはりようりの本に書かれていることはわからないということが考えられます。そのことについては、図書館で本を見ている場面に、「でも、やさし(そう)でも、おとなむきの本だから、ぼくにはちつともわからない。」と書かれており、この文が答えとなります。「はじめの五字を書きぬいて答えましょう」という問いの条件に合わせて答えましょう。

問八 A2 知識 関係づけ

ぼくとにいちやんはおみおつけを二はい食べています。おみおつけをおかわりするくらいですから、おいしかったのだと考えられます。したがって、ウの「とつても」がふさわしいと考えられます。アの「たいして」とイの「ちつとも」は、「くない」などの言葉とともに使われることに注意しましょう。

問九 B1 具体・抽象 関係づけ 比較

線部⑤の前に「もう一かいつくればいいさ。」と書かれています。この部分から、にいちやんはおみおつけの作り方がわかつたということがわかり

ます。したがって、ウの「おみおつけのじょうずなつくりかたがわかったということ。」が正しいと考えられます。

問十 B1 関係つけ 比較

本文に書かれたこととして合っているものを選ぶ問題です。文章とてらし合わせて答えましょう。

アは、にいちゃんが二回目のおみおつけを作った場面ばめんに、「とうふがなくなつたので、ねぎとあぶらげだけのおみおつけだ。」と書かれているので、正しい答えだとわかります。

イは、本文に「にいちゃんは、その中の一さつをかりることにした。」と書かれているので、正しくありません。

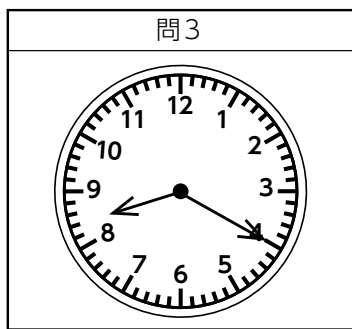
ウは、とうさんがにいちゃんをほめた場面で、ぼくはそのことについては何も言っていない。したがって、正しくありません。

小学3年 思考力テスト — 解答と解説

問1	問2
40 分	8 時 15 分

21

22



23

問4				
1	25	49	64	81

(完答) 24

問5															
ア	岩	イ	思	ウ	肉	エ	国	オ	語	カ	線	キ	親	ク	朝
	25		26		27		28		29		30		31		32

25

26

27

28

29

30

31

32

問6	問7
エ	7 本

33

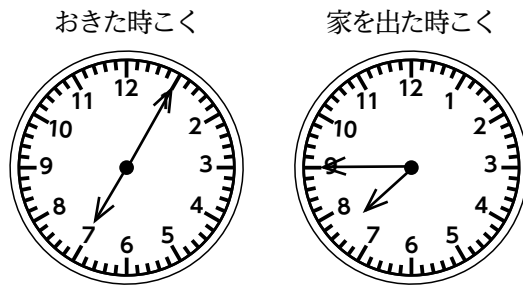
34

(例)									
問8									
の	こ	さ	な	い	で	食	べ	る	
				5					10
									35

【解 説】

問 1 A2 情報を獲得する 再現する

【図 1】



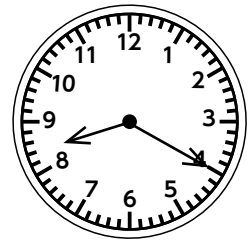
【図 1】より7時5分におきて、7時45分に家を出ているので、 $45 - 5 = 40$ (分間)

問 2 A2 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる

家からバス乗り場まで7分かかり、バスには15分乗ります。よって、バス乗り場につくのは、 $45 + 7 = 52$ (分)より、7時52分。このあとに乘れるバスは、時こく^{ひょう}表より、8時00分^{しゅっぱつ}に出発するバスです。したがって、学校につく時こくは、8時15分になります。

問 3 B1 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる

問 1より、おきてから家を出るまでの時間は40分なので、ねぼうしたこの日は15分^{みじか}短くすれば、 $40 - 15 = 25$ (分)でし^{しょくじ}くと食事をしたことがわかります。よって、家を出る時こくは、 $30 + 25 = 55$ (分)より、7時55分になるので、バス乗り場につく時こくは $55 + 7 = 62$ (分)より、8時2分になります。乗ることができるバスは時こく表より、8時5分になります。



したがって、学校につく時こくは、 $5 + 15 = 8$ 時20分だから、8時20分となり、長いはりは、次のように4の目もりをさします。

問 4 B1 情報を獲得する 知識 調べる

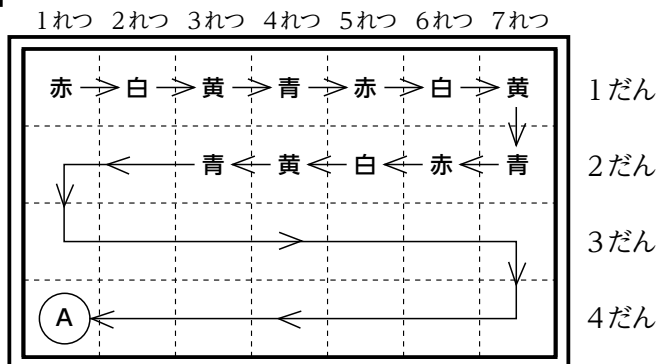
九九の答えのうち、1回しか出ない答えとして考えられるのは、 $1 \times 1 = 1$ のように、同じ数字をかけたときです。 $2 \times 2 = 4$ (1×4 など)、 $3 \times 3 = 9$ (1×9 など)、 $4 \times 4 = 16$ (2×8 など)、 $6 \times 6 = 36$ (4×9 など) は、何回も同じ答えが出てきます。1回しか出ない答えは、 $1 \times 1 = 1$ 、 $5 \times 5 = 25$ 、 $7 \times 7 = 49$ 、 $8 \times 8 = 64$ 、 $9 \times 9 = 81$ より、1、25、49、64、81になります。

問5 B1 情報を獲得する 知識 具体・抽象

もとなる漢字を知っていて、なおかつ、上下左右どこにどの字があるか、あてはめてみるのができたかどうかを計ります。

問6 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

【図2】



横に7本ずつで、たてに4本ずつ植えてあるので、ぜんぶで $7 \times 4 = 28$ （本）植えてあることがわかります。チューリップは（赤、白、黄、青）の順番に植えてあり、この4色がくりかえされています。28÷4=7でちょうどわりきれたので、最後の①に植えられているチューリップの色は、Ⅰの青色とわかります。

問7 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

問6より、（赤、白、黄、青）が7回くりかえされたことがわかるので、どの色も7本ずつあることがわかります。

問8 B2 関係づけ 推論

食べ物のむだをなくすときには、食べられる量をうつわによそること。そして、残さないでぜんぶ食べること、むだにならなくなります。①食べ物のむだをなくすことが書かれているか、②①に過不足がないか、③表記や表現が正しいかどうかを見えています。

問9 A1 情報を獲得する

【表3】

じゅんばん 順番	しんちょう 身長(cm)	たいじゅう 体重(kg)	じゅんばん 順番	しんちょう 身長(cm)	たいじゅう 体重(kg)
1	125	25	11	132	31
2	130	29	12	127	24
3	127	27	13	128	27
4	129	28	14	131	31
5	126	26	15	129	29
6	129	25	16	131	32
7	132	30	17	125	27
8	131	28	18	127	26
9	126	25	19	128	28
10	133	32	20	132	33

身長のらんと体重のらんをまちがえないように答えましょう。

問10 A2 情報を獲得する 再現する

もっとも身長の高い人は133cmで、もっとも身長の低い人は125cmとわかります。したがって、身長^さの差は、 $133 - 125 = 8$ (cm)

問11 C1 理由 推論 具体・抽象

自分が学校の授業^{じふん}の中でどんな授業^{じゅぎょう}がすきな^きのかを記述^{きじつ}する問題^{もんだい}です。自分が、どうしてその授業^{じゅぎょう}がすきな^きのかを考えてみましょう。①すきな授業^{じゅぎょう}が書かれて^{りゆう}いるかどうか、②すきな理由^{りゆう}がわかるような文^{ぶん}になっているかどうか、③①・②に過不足がなく、文章^{ぶんしょう}の整合性^{せいこうせい}に誤り^{あやま}がないかどうか、④表現^{ひょうげん}や表記^{ひょうき}に誤り^ごがないかどうか、⑤3行以上で書かれて^{りゆう}いるかどうかを中心^{かいてう}に見ています。(ただし、理由^{りゆう}が3行書かれていない解答^{かいとう}は、すべて採点対象^{さいてんたいしょう}としません)